

「共同参画」は男女間闘争の始まり!

決して男女の幸せな関係づくりに役立たない

本来の男女平等は、男女の差を認めて、互いに尊重し、助け合うことのはず。しかし、「男女共同参画社会」では、男女の差を無くすことに躍起になっている。それは、フェミニズム(男女同権・女権拡大主義)という過激思想が根底にあるからだ。

「男女共同参画」は、家族解体を策すフェミニズムの過激思想が根元!!

ごうまん
傲慢

フェミニズムの決め付け思想

- 「家族は支配機構だ」
- 「無償の家事労働が、女性抑圧の原因だ」
- 「男女の性差は、社会的に『作られたもの』だ」
- 「男(夫)は支配者、女(妻)は被支配者だった」
- 「自然・環境破壊も、効率・競争中心の男性原理が病根だ」

七霊

マルクス共産主義の影響

- 唯物論 (愛情、絆を無視)
- 「賃金労働」重視 (家事、育児を軽視)
- 夫婦や家族を対立・闘争の構図で見る

ご用心

フェミニズムのささやき

- 「家事をやるのは強制されているからだ」
- 「良妻賢母というのは古い観念だ」
- 「家事・育児をまじめにするのは夫に従属している印だ」

独善

フェミニズムの具体的主張

- 性別役割分担の否定
- 「家事・育児の外注化奨励」
- 働く女性の支援、専業主婦の否定
- 「ゼロ歳児保育」「24時間保育」「育児休業の充実」
- 事実婚やシングルマザー、同棲、同性愛の奨励
- 夫婦別姓の導入

風前の灯にある「明るい家庭」!



分断

男女共同参画社会の特徴

- 「世帯単位から個人単位へ」
家族や夫婦という単位を否定
- 「男らしさ、女らしさ」を否定
- 出産・育児を軽視
女性が働き続けることだけを評価

脅威

フェミニズムは今や体制派

- 官庁や地方自治体、ジャーナリズムに浸透し、影響力を行使!
- 審議会を一部の学者や活動家が握り、それを行政が丸飲み!

危ない!

最終目標は「家族解体」だった!

フェミニズムの思想を基にした 国家解体・家族解体が 「男女共同参画社会」の実体だ!!



日本時事評論

編集・発行
 (株)日本時事評論社
 〒753-0811
 山口市大字吉敷1112-1
 TEL 083-928-0086
 FAX 083-928-1113
編集部
 TEL 083-932-6665
 FAX 083-922-3167
 購読料 年4,800円
 振替口座01590-1-25226

「男女共同参画ビジョン」
 平成八年七月の男女共同参画審議会答申「男女共同参画ビジョン」には、共同参画の意図が明確に示されている。つまり、性別による偏りのない社会システムの構築には、制度・慣行の見直し・検討が必要で、「選択的夫婦別姓制の早期実現」「配偶者に係る税制、社会保障制度の検討・見直し、企業の配偶者手当等の検討」を提言している。

転載自由

国民に迷惑をかけたたり、社会を混乱させたり、これを助けるのは重大な社会罪悪だ。必ず天の制裁 罰はある。